

H005

T: はい, じゃ, よろしくお願ひします。

I: よろしくお願ひします。

T: はい, え, わたしは, 【T】と申ひます。

I: えっと, あたしは, 中国の【地名】から, えーと, 10歳半のときに, 日本にきた, 【I (フルネーム)】です。

T: あ, そうですか (はい)。

【I (姓)】さんですね (はい)。

そう, 10歳半で?

I: 10歳半で。

T: あー, そうなの。

そうですか (はい)。

【地名】ですか?

I: はい。

T: へー。

【地名】って, どんな国ですか?

I: 【地名】, で, いったら, みー, みなさん, なんていうか, モンゴルっていうか, に, 近い, 草原に (うん), が, に, 馬が走ってるような (ええ), そして, パオ (はい) があるような暮らしじゃないの, って, よく, 聞かれるんですけど (ええ, ええ), あ, 実際, そうじゃなくて (うん), シャベってる言葉も, その, 標準語に近い (ええ), ちょっと方言は入ってるんですけど, ひょうじゅ, 標準語に近い中国語です。

T: あー, そう。

そうですか。

I: で, 田舎でした。

T: あー, そうですか (はい)。

あの, お, あの, 高い建物や街は, あんまりない?

I: あ, なかったですね。

T: あ, そう…

I: 車で30分くらい行けば, たぶん, まだ, ちょっと, 都会のほうかなという (うん) 街には着きます。

T: あ, 本当。

あの, 普通の, その, 【地名】の, なんか, 文化は (はい), あの, ま, 中国の文化とは, 少し違ひますか?

I: あ, 一緒ですね。

T: あー, そう?

I: 一緒です。

T: あ, 本当。

なんか, 前に, 宗教は (はい), なんか, あの, 違うって聞いたことがあるけど, おしょうですか?

I: あー, あんまりないですね, そういうの (ほー)。

なかったです。

T: あ, 本当。

I: はい。

T: 特別な, そういう, 習慣, 生活の習慣とかは, ま, 別にないですか, 伝統的な?

I: なかったです。

T: あ, 中国とおんなじ?

I: はい。

T: あ, 本当。

I: はい。

T: じゃ, あの, 代表的な食べ物っていうのは, なんですか?

I: 水餃子ですね, ***。

T: あら, そう {笑}。

I: はい {笑}。

T: あ, 水餃子ですか。

H005

- I : はい。
- T : あ, そう。
あの, やはり, 中国は, 北部のほうが〈あ, はい〉, 水餃子が多い…
- I : あ, はい。
- T : て, 言いますけど。
- I : 年末, し, がん, 元旦?…
- T : うん。
- I : に, 絶対, つくて [作って], あの, た, こいんを入れて〈へー〉, 何個か入れて, 餃子ん中に, ん, 詰めて, 入れて〈はい〉, 包んで, それを茹で上げて〈うん〉, 食べた人は〈うん〉, その年〈うん〉, いいことがあるみたいな〈あー〉, そういうのも, あ, やってます。
- T : あ, あら, 本当〈はい〉。
あ, そう, それは, なんか, 面白いですね〈あ, はい {笑}〉。
そうですか。
なぬで, い, 最近, 日本の企業も〈はい〉, すごく, あの, 【地名】のほうは, 進出してると聞いてますけど, どうなんですか?。
- I : あー, あっし [あたし] は, あんまり, わかりません。
- T : あ, 本当。
- I : はい。
- T : そうですか。
あの, 工場とか, 外国の工場とかは, まだ, あまり来てないですか?。
- I : あまり, きいてないですね〈うーん〉。
はい。
- T : そう。
そうですか。
へー。
それじゃ, 日本に来て, 日本の生活と, 【地名】での生活は, ずいぶん違いましたか?。
- I : いや, まったく違いますね。
- T : はー, はー。
- I : 中国にいたころは, テレビも, あの, 色がついてるやつもあつたんですが〈はい〉, あまり, そんな, ゆうふ, 裕福な〈うん〉暮らしではなかったんで〈ええ〉, あの, 白黒の〈はい〉, テレビ見てたんで〈ええ, ええ〉, しかも, 電波も, そんな良くないし〈うん〉, あまり見れなかったんですが, 日本に来たから, 色ついてるし〈うん〉, いっぱいテレビ見れるみたいな。
- T : あー, そう。
テレビが好きなんですか?。
- I : はい, はい, いっぱい見てました {笑}。
- T : あ, そうですか {笑}。
そう。
あ, でも, あの, いな, 田舎っていても, その, 【地名】の生活も, あの, そういう, こう, テレビや, ね, そういうのがなくても, いいところが, あつたでしょ?。
- I : あ, ありましたね。
- T : うん, どんなどころ, 懐かしく, おもいます, 思い出したりしますか?。
- I : んと, すぐ, 家の後ろが山で〈ええ〉, ていうか, はだけ [畑] も, 自分の家, 持ってて〈はい〉, ナスやキュウリ, トマトとかも〈うんうん〉, そんなまま, とって〈うんうん〉, 洗って, 水洗いして〈はー〉, そのまま食べれるし, 山に登って, ハイキングっていうか, 日本で, いうたら〈うん〉, ハイキングみたいなも, すぐできるし〈うんうん〉, すぐ近くに, 小さな, かわぼ〈あー〉とかも流れてて〈はい〉, 冬になれば, 氷が凍って〈はー〉, 遊んでたりもしていました。
- T : あー, いいですね。
- I : はい。
でも, 今, なんか, もう, 乾燥しちゃって, 川も乾いちゃって…
- T : あの…

H005

- I : 水が、なんていう、な、流れなくなって…
- T : あ、そう、もう、【地名】？。
- I : はい。
- T : あー。
- I : あ、あたしが住んでいたところなんですけど。
- T : あー、そう。
どうして、そんなふうになったんですか？。
- I : 乾燥、地球温暖化のせいですかね、わかりませんけど。
- T : へー。
あ、そうなんですか〈はい〉。
え、地球温暖化は、その、【地名】で〈はい〉、ど、なんか、特に、その、なにか原因があって、そういう、乾燥が進んだんですか？。
- I : あ、くし、詳しくは、わからないんですけど、そうではないのかなと思います。
- T : ほー、そうですか。
- I : あたしが日本に来たころは、まだ、ちょっと、あったんですよ〈うん〉。
で、小6〈ええ〉、小4で、小5、小学校4年生んときに、最後らへんに来たんですけど〈はい〉、ご、6年生にあがったときに〈ええ〉、中国に帰ったんですが〈ええ〉、見たら、もう、水が、もう、なが、無かったですね。
- T : へー。
- I : はい。
- T : ひどいですね、それは。
- I : はい、{笑}。
- T : あ、そう。
じゃ、それで、ずいぶん、その、【地名】の〈はい〉、その、あの、前にね〈はい〉、住んでた場所も、影響を受けて、生活は、変わります、変わったでしょうね？。
生活が、みんなの生活、そういう被害が大きくて。
- I : あ、あの、田んぼ、ほとんど、みんな、あの、やってたんで〈ええ、ええ〉、たぶん、そっち、ちょっと、被害、受けてると思いますね。
- T : うーん、あ、そうなんですか〈はい〉。
- I : 畑仕事ができないので、収入も、なげいし。
- T : あー、大変ですね。
- I : はい。
- T : で、そういうふうに、こう、あの、仕事が無くなったり、あの、被害を受けた人たちは、今、どういうことになってるんですか？。
- I : 出稼ぎが多くなってますね、たぶん、***〈うーん〉。
はい。
- T : あー、そうなんですか。
へー。
そうですか、大変ですね。
- I : はい。
- T : そうか。
中国で、その、出稼ぎをする場合っていうのは、いろいろ問題があるんですか？。
しやすいんですか？。
- I : えー、でよ、しやすいんで、あ、結構、ま、発達してきてるんで〈ええ、ええ〉、経済が〈はい〉、そういう面では、たぶん、募集してる人は、とが、多いと思いますね〈うんうん、うん〉。
- T : あー、そう。
そうですか、へー。
地球温暖化、今、もうね、世界的な問題ですよ〈はい〉。
最近、そういう、ま、サミットとか、あの、今、北海道で〈あ、はい〉、あの一、されてるでしょ。
なにか、そういう、う、こと、温暖化のことで、なにか、こう、ほかに、えー、勉強したり、こう、知

H005

ってることって、ありますか？。

I : えーと、勉強は、そんな、してないんですが〈うん〉、むた [無駄]、水の出しっぱとか〈はい〉、歯、磨いてる、例えば〈うんうん〉、朝、その、あ、そのあいだに、ずっと、出しっぱ、してるよ〈はい〉、しめたりとか〈ええ、ええ〉、そんなんは、してるように、してますかね。

T : あー、そういうふうにして〈はい〉、ちょっと、あの、防ぐようにしてる。

I : はい。

T : あ、そう。

ほかに、そいじゃ、なにか、どんなことをしたら、地球温暖化の問題を食い止められることができると思いますか？。

I : 問題ですね、〈うん〉 {プレス}, ...。

ちょっとずつの、無駄〈はい〉ですかね〈ええ、ええ〉。

T : どういう無駄？。

例えば？。

I : 例えば、例えば、再利用のものに、だしせ、出せるものは出したりとか〈うん〉、ごみ分別、前、ちょっと、テレビ見た、見たんですかえ、なんか、専門家が、別に、分別しても、あまり意味が無いって言って、* 〈うん、*〉、聞いた記憶あります〈うん〉。

あと、なんですかね、地球温暖化、...

クーラーの〈うん〉設定とかも〈うんうん〉、涼しい、別に、そんなに、ひよくしなくても、いいんでないのかなと〈うん〉。

ぐらいですかね〈あー〉。

ちょっと難しいです。

T : そう、そういうね、なるほどね。

今、やっぱり、あの、石油も〈はい〉、すごく値段が上がってて。

I : あー、ガソリンとかもそうですね {笑}。

T : うん、そう、大変ですよ。

I : はい。

T : うん、だから、すごく、その、温暖化っていうか、エネルギーを、みんな使ってるから〈はい〉、あの、そういう、資源が少なくなってるわけですけど〈はい〉、ね。

えー、これから、将来、すごく、いろいろ問題が起こってきそうですね。

I : そうですね {笑}。

T : うーん。

ほかに、どんな問題が起こってくると思いますか、このまま、温暖化が進んだら？。

I : 例えば、服も作るとき、石油いるんでしたっけ？。

T : うん。

I : ん〈うん〉、ときも、そうですし、たとえ、プラスチックとかも、いろいろ生活に関しては、いっぱい値段が上がったりして、今、食品〈うん〉でも、上がったりしてるんで〈ええ、ええ〉、すご*、困るのでは、と。

T : あー、そうですね〈はい〉。

食品でもね〈はい〉、そうね。

さー、じゃ、ちょっと、こう、話を変えますね {笑} 〈はい、はい〉。

すごい、その、難しいことを話しましたからね。

あの、【I】さんは〈はい〉、あの、お、毎日、うん、どんな生活をしてるんですか？。

え、学校で、どんな授業をとって、あと、帰ってから、どんなことするとか、ちょっと、ほじ、教えてください。

I : んと、1、2年んときは、わりと楽だったんですけど、1年のときは特に〈ええ〉、今は、もう大学受験で、自分の行きたいところ、中国語と日本語ができるんで〈ええ、ええ〉、ちょっと、それを、もっと伸ばしたいなと思って〈ふーん〉、その、その、大学に、と、自分が行きたい分野がある大学調べて、それに、向いて、ちょっと、今〈ふーん〉、がんばってます。

T : あー、そうなんだ。

すごいね。

中国語と日本語と〈はい〉、両方ができるっていいですよね〈はい〉。

そうですか。

でも、バイリンガルの、そういう、両方ができる、ね、両方ができたら、あの、なんか、どちらも、はっきりわからないっていう問題は、起こらないですか？

I : あ、ちょっと、たまにありますね〈うー〉。

ちょっと、頭の中で、ごちゃ混ぜになってしまって。

T : え、例えば、どういうときに、ごちゃ混ぜになって、なんか、そういう問題、わかった、起こったときとか、ありますか。

なんか、あたし、すごく、そういうの興味があるんで {笑} 〈{笑}〉、教えてもらいたいです。

I : どういうときですかね〈うん〉。

例えば、中国語で表現しやすい部分もあれば〈うん〉、日本語で表現しやすいところもあるし〈ほーほー〉、自分にとったら、そういうときに、例えば、日本人の*** 〈はい〉、しゃべってて、急に、例えば、ミスってっていうか、で〈うん〉、中国語で、一瞬で、す、しゃべりそうになったりとか〈あー〉。

例えば、反対に、中国人の友だちとしゃべって〈うん〉、しゃべってるあいだに、ま、日本語で、自分にとって〈うん〉、日本語で言いやすいような言葉〈ほー、うん〉を、なんていう、日本語で言ったら、日本語は、が、あまりわからない子にとったら、どういう意味って聞かれて〈あー〉、説明してって言われても、あんまり、ちょっと、説明が、うまくできないっていうか。

T : へー、あ、面白いですね〈はい {笑}〉。

おー、そっか。

中国語で言いやすいことっていう、*か、そういうのが、あるわけね。

I : はい、あるですよ。

T : あ、そう。

なの、中国語で話してるるときと〈はい〉、日本語で話してるるときと、自分の性格は、ち、変わるっていうことあるの？

なんか、そんな話を聞いたことがあるんですけど。

I : 変わるんですかね〈うん〉。

あまり変わらないですね〈ふーん〉、たぶん。

T : あ、本当〈はい〉。

あまり変わらない {笑} 〈はい {笑}〉。

あ、そうですか。

えー、今、すごく中国語ブームなんですよ〈あ、はい〉。

日本人で、中国語勉強したがる人、すごく多いでしょ？

I : あ、はい、そうですね。

T : うん。

ね、中国語を勉強するときのコツってね、そういう人にどういう、その人が、もしいたら〈はい〉、あー、どんなアドバイスを、あの、してあげますか？

I : するとしたら、あたしが日本に、最初、来たみたいに、やっぱり、回りが、例えば、中国人ばかりいると、中国、その人たちに頼ってしまって〈うん〉、中国語しゃべってしまうので〈うん〉、やっぱり、回りにそういう環境がないところに行って、やっぱり、しゃべることが大事ですかね〈あー〉。

書くことも大事なんですけど〈うん〉、それ以上に、しゃべる言葉も、ちょっと。

T : あ、そう。

I : はい、だと思います。

T : しゃべることが大事〈はい〉。

ふーん。

文法*、の勉強とか〈はい〉、発音の勉強とかは、どうすればいいですか？

I : その勉強はですね〈ええ〉、ま、いろいろ、手段あると思うんですが〈はい〉、例えばCDとかも売ってるんで〈うんうん〉、そういうのを聞いたりして。

標準語はですね、やっぱり、それぞれの地方、日本でもあるんですけど〈うん〉、地方の方言が入ったりするんで、できるだけ標準語に近い〈ええ〉、はい、そういう人と、会話ですかね〈ふーん〉。

会話を聞いて、やっぱり、私もそうなんですけど、日本に来たときに、日本語でしゃべってて、間違っ

H005

る、文法的に間違ってるところを、日本人、のまち [友だち] が〈うん〉、そこは違うよって〈うん〉訂正してくれたりするんで〈ええ〉、その面では、たぶん訂正してくれると思うんで〈うん〉、覚えやすいですね。

T: あー、そうか、訂正…

I: あたしも、そうだったんで。

T: あー、そう、訂正してもらおうことが〈はい〉大切なんですね。

I: しゃべってて、ちょっと、日本語おかしいけど、理解してくれて、なにになにですれみたいない感じで〈うん〉言われて、あ、はい、そうですねって覚えるから〈はーはー、あ、そう〉、そっこのほう、たぶん早いと思いますね、上達は〈あー〉。

T: あ、そういうことですか。

I: はい。

T: なるほど、そう。

でも、訂正ばかり、し、したら、話しにくくならない？。

I: あー、そうですね、ちょっと。

訂正ばかり。

T: ん、***、訂正って、なんか、訂正の仕方って、難しいと思うんですけど。

I: あ、はい。

T: うん。

どんな感じで訂正されたら、はな、ん、話しやすい？…

I: も、さりげなく、例えば〈うん〉、日本語、なんていうに、間違った日本語でなんていうのかな、わたし、わたしの、、、なんて言ったらいいんですかね〈うん〉、、、例えば、日本語勉強してるときに、その、借ります〈はい〉と貸します〈うん〉、ちょっと、受け身と、じゃないですか〈はい〉、反対、意味で。

例えば、ペンを〈うん〉貸しますかって〈うんうん〉聞くときに、例えば、自分がペンを持ってなくて〈うん〉、その人から借りようとして〈うん〉、それ、そんなときに、借りますかって〈あー〉聞こうとしたら〈うん〉、そんな、さりげなく、あ、借りるんですかって〈うんうん〉聞かれたら、たぶん、それで〈はー〉、さりげなく覚えるんですよ。

T: あ、そっか〈はい〉。

あ、そういうやりかたね〈はい〉、なるほどね。

I: 会話してる最中に〈うん〉、さりげなく。

T: あー、そう。

あ、そうか、やっぱ〈はい〉、借りますとか貸しますとか、そういう面も。

I: はい、ちょっと。

T: うん、なるほどね。

それって、やっぱり、中国語の中に、あの、その、日本語とは違った、ま、その、文化、ま、日本の〈はい〉、日本語の中に、また、中国語と違った文化が〈あ、はい〉、ま、たぶん、あるんですね。

I: はい。

T: そうするのは、どうでしょう、その、どういうふうに、文化的に、じゅ、中国語の中のもの、日本語、違うと思いますか？。

I: 違うところですか？。

T: はい。

I: 違うところは、、、なんですかね？。

T: うん。

文化の違いっていうのは〈文化の違い〉、どうですか、やっぱり、よくかん、よく、そういうのって、やっぱり感じると思いますけどね。

I: あ、最初、日本に来たとき、そうでしたね。

T: ねー。

ん、どんな点が、すごく違うなと思いましたか？。

I: やっぱり、どんなところ〈うん〉、えー…

T: 例えば、そのエピソードっていうかね〈はい〉、例えば、どういうときに、こう、日本人だったら、こうするけど、中国人は、こうするとか、そういうふうな面では、説明できませんか？。

H005

- I : 親たちを見れば〈うん〉、あ、うち、自分の子どもに対して〈はい〉、日本人なら、結構、あたしの回りもそうなんです、例えば20歳になれば、あたし、あな、自分も大人なんだから、自分で1人で暮らせるんだから出ていきなさいって感じで、いうけ、言う人、結構い、いるんで〈うんうん〉、中国人は、わりと、なんていう、保護〈ほ一〉っていうか、はい、そうしてる人も多いと思いますね〈あ一〉、あたしの家族でも。
- T : あ一、そう。
そうか、すごく、家族、家族主義っていうか…
- I : あ、はい。
そういうの、結構、だいぶ、あたしの家では〈うん〉、そういうの、ありますね。
- T : あ一、そう。
ん…
- I : 友だちと比べても、たぶん、だいぶ違います。
はい。
- T : あ、そうですか。
へー。
じゃ、家族で、すごく、こう、みんな、結束してるわけですか、中国の人は？。
- I : あ、はい、そうですね、たぶん。
- T : あ、本当。
そう。
じゃ、日本人は、やっぱり、もっと個人主義だと思いますか？。
- I : あ、はい。
- T : ふーん。
じゃ、個人主義って、日本の、その、家族は、みんな自分で〈はい〉、あの、するようになってっていう、そういうのは、やっぱり、なんか、悪い点って、あるとおもいますか？。
- I : ぱり〈うん〉、その、子どもそれぞれだと思うんですが〈ええ〉、例えば、考え方に、つ、よって、違ってたり〈うん〉、ま、あたしは、親に好かれてないんだとか〈うんうん〉、見捨てられてるんだな〈ほ一〉という気持ちになれば、ま、こういう、こうやって、突き放されて、せいしょ [成長] しなければならないと〈うん〉思う人もいれば、そう、プラスの思考に考える人もお〈うんうん〉、いるし、マイナス思考に〈うん〉、行ってまう、行ってしまう人もいると思うんですよ〈あ一〉。
だから、なんて言ったらいいんでしょう。
- T : うん。
マイナス思考に行った人たちは〈はい〉、え、どうし、どうしたらいいと思いますか？。
そう、マイナス思考に行ってしまったら、どんなことが起こると思う？。
- I : 例えば〈うん〉、行っては、や、ならない道に行ってしまったとか {笑}。
- T : 行ってはならない道に行って {笑}、行ったりとか〈はい〉。
ね、今、日本でも、ひきこもりとか、ニートとか…
- I : あ、はい、ありますね。
- T : うん、やっぱり、そういうの、そういう問題は〈はい〉、日本の、そういう個人主義のありかたと関係があると思いますか？。
- I : あ、多少はありますとも、あると思います〈うん〉。
例えば、親が、日本人って、わりと子どもの言い分を聞くじゃないですか〈うん〉。
でも、あたしの場合だけかもしれないが、親の言い分を、結構、聞いているんですよ〈うん〉。
こう、自分の主張というより〈あ一あ一〉。
だから、そういう面では、ちょっと緩いのかなと。
子どもの〈うん〉言い分を聞きすぎて。
- T : あ一、そう。
でも、今のだったら、その、子どもは自分でやりなさいって〈はい〉、突き放す、日本人は突き放すって〈はい〉いうことと矛盾してない？。
- I : あ一、そうですね〈うん〉。
- T : 子どもの言う、言い分を聞きすぎる〈はい〉わけでしょ？。

H005

でも、ほ、両方なんですよね、結局？。

I： はい。

T： どうした、どういうことなのでしょう？。

I： と、よくわかりませんか。

なんて言ったらいいんやろう、、、、難しいです、なんか。

T： うーん。

中国だったら、そういう問題、あんまり出ないんでしょう？。

I： でもないんですが〈うん〉、わりと、*、出稼ぎに行っても〈うん〉、できるだけ、なんていう、会いに行ったりとか〈うんうん〉、年に1回は、必ず〈ええ、ええ〉会いに帰ったりとか、うん、するし、電話は、たぶん、電話とかも、連絡はしょっちゅう〈うん〉、とってると思うんですよ。

T： あー、そう〈はい〉。

じゃ、中国は、ああいう、なんか、こう、ん、ひきこもりとかね〈はい〉、その、ニートみたいな問題は出てこない？。

I： いや、出てると思うんですけど〈あ、そうなんですか〉、*、あたしの回りでは、あんまりいないですね〈うんうん〉。

例えば、家族の中とかでも〈は一〉、その、回りでは、そういう話は聞いたことないですね〈は一、*〉。ひきこもりは。

T： へー。

どうして、*、そういうことが起こらないんだろう？。

I： どうしてですかね。

T： うーん、日本だったら、それで、反対に、なんで、そういうことが起こるんでしょうかね？。

I： なんでですかね。

T： うーん。

そう、これから、また考えて、{笑}〈はい {笑}〉、研究してみてくださいね〈はい〉。

全然、話もまた違いますけど〈はい〉、ほかに、なんか、趣味とかあるんですか？。

I： あたし、趣味ですか〈ええ〉、趣味は、ま、特にないですね {笑}。

T： あ、特にない？。

I： はい。

T： あ、そう。

あの、例えば、本を読んだり〈はい〉、あの、ゲームをしたり、おしゃれをしたり。

すごい、素敵な、ね〈{笑}〉、あの、アクセサリ、ね、い、してます。

おしゃれは好き？。

I： あ、好きですね。

T： あ、そうですか。

ふーん、どんなことに気をつけて、おしゃれをしますか？。

色とか、デザインとか、***。

I： あ、はい、色で、とかですね〈うん〉、特に色ですね〈うん〉。

例えば、全身、黒やったら、今、夏じゃないですか〈ええ、ええ〉。

全身、黒だと、その、吸収してしまうんで〈うん〉、光を〈うんうん〉、暑く感じるし〈はい〉、見ても、暑く、苦しく感じるじゃないですか〈うんうんうんうん、そうだね〉。

そういう面でも、夏は、もっと涼しい、み、よん、のような〈うん〉、例えば、水色とか、とかも、涼しく〈うん〉、{笑}、見るだけで、黒よりかは涼しく、見るのでは。

T： あー、なるほど。

I： はい。

T： そ、色がポイントなのね？。

I： はい。

T： ふーん。

あんの、あの、ファッションの雑誌とか見ますか？。

I： あ、あたし、でも、あまり見ないですね {笑}。

T： あー、そう。

H005

- I : はい。
- T : 自分の、あの、おしゃれをする？。
- I : 自分が、例えば、ショッピングしてる最中に〈うんうん〉、これ、いいなという〈うん〉、思ったやつを、いいなと思っただけでは、わたしは、あまり買わないですね {笑} 〈ふーん〉。
 比べて、試着、例えば、試着したりして、どういうふうに合わせていいのかなとか〈うんうん〉、これは合わせにくいから〈うんうん〉、買わないどころか〈うんうん〉は、考えたりしますね。
- T : あー、そう。
 よくね、ぱっとね、見て、いいなと思って〈はい〉、衝動買っていくのをね〈あ、はい〉、する人が、女の人って、結構〈はい〉いる、おる、多い、{プレス} …
- I : あとこ、あとのことを考えれば、あ、後悔するからやめとこうと〈うん〉、私は考えるんですけど〈うん〉。
- T : あー、そうか。
- I : はい。
- T : すごい、しっかりしてるわけね 〈{笑}〉。
 そうですか。
 でも、最近ね、日本の、あの、若い女の子って、すごくおしゃれに〈あ、はい〉気をつけてますよね？。
- I : はい。
- T : うん。
 どうですか、見てて、やっぱり、いいなと思う？。
- I : あ、いいなと思いますね。
- T : あ、そう。
 どうして、そんな、すごく、おしゃれするのって、わりあいね、あの、嫌な人っていると思うんですよ。
- I : あ、はい。
- T : うん。
 あの、外見ばかり〈あ、はいはい〉、気にする、気にするのはよくないという〈あ、はい、そうですね〉考え方があるんだけど。
 うん、そういう人、そういう考えに対しては、どう思いますか？。
- I : あたしも、例えば、知らない電車乗ってて、全く知らない、例えば、その、ギャルという〈うんうんうん〉女の子たちがいて、うるさいなど、例えば、電車の中で〈ええ〉、お、でかい声でしゃべったりして〈うん〉、しかも、すごい、かっこいいか〈うん〉。
 あの、パンダみたいな {笑} 〈{笑}〉、すごく目を黒く塗ったりとかしたら、あー、って思ったりするし〈うん〉、んー、この子は、一生こうやって暮らしていくんかなとか〈あ {笑}、そうか〉、勝手に想像してます、ですけど {笑}。
- T : ー、なんか、そういう子を見て〈はい〉、その、パンダみたいにね〈はい〉、目を黒く塗っている子っていうのは、その、なんていうかな、どういう女の子だと思いますか？。
- I : 例えば、*…
- T : *、内容がないとか、と、どういう子だと思う？。
- I : それはないと〈うん〉思いますね〈うんうん〉。
 人それぞれなんですけど〈うん〉、例えば、そんなかっこをしてても、中身はちゃんと、しってるこ、しっかりしてる子もおれば〈うん〉、その、ほんまに、その、見た目どおりで〈うん〉、例えば、どっかが抜けるといふか {笑}。
- T : {笑}、抜けるといふ、なるほど。
- I : はい {笑}、抜けてるといふか〈うんうん〉、ちょっと、しっかりしてない子も、本当にいるんだなという〈うん〉、周りでも、結構、そういう友だちがいるんで。
- T : あ、そう {笑}。
- I : はい。
- T : そう、ここの学校は、みんな私服なんですよね。
- I : あ、はい。
- T : だから、わりあい、おしゃれもできるのね。
- I : はい、そうですね。

H005

- T: うん。
それ、すごくいいと思いますか、そういう制度は？。
- I: あー…
- T: あの、制服、*、が多いでしょ、高校の場合は？。
- I: あ、はい。
- T: うん。
- I: あたしは、たぶん、別に、もう、私服制度でいいと思いますね〈うん〉。
- T: なん…
- I: 自由で。
- T: うーん。
そう、なんか、いい点と悪い点っていうのは、あると思いますか？。
- I: あ、はい、そうですね、やっぱり〈うん〉。
例えば、【学校名】の独特な点で言えば〈ええ〉、例えば、空き時間があつたりすると〈うんうん〉、例えば、友だちとは、一緒に、ショッピング、【施設名】〈あ〉、近くの【施設名】なんですけど〈うん〉、【施設名】に行ったりとか、私服で〈うん〉。
そしたら、例えば、たまたま警察官に会って〈あー〉、何してんの、学校は、と〈おー〉聞かれると〈うん〉、その、しくふ、私服でおったときは〈はい〉、あまり、そういう、言われなくても〈うん〉、学生じゃないから、じゃないって、ばれへんから〈うんうん〉。
だけど〈あー〉、制服でおると、あ、この子は学校さぼってるんだとか〈へー {笑}、なるほど〉、思われる、思われるのではと。
- T: あー、そう。
- I: はい。
- T: あー、そうか、反対に思ってたけど〈はい〉、そういうことですか {笑}。
なるほどね。
あー、そう、制服を着て、あ、その、空き時間に行って〈はい〉、買い物したら、警官に注意されるってことね。
- I: たぶん〈ふーん〉、す、あると思いますね。
- T: あ、そう。
もし、そういうことが起こったときに、どうするの？。
その、警官にね〈はい〉、せ、あの、制服っていうか〈はい〉、あ、標準服で行って、おまわりさんに〈はい〉、何、今ごろ来て〈はい〉、ね、あの一、何やってんだって、言われたら、どう、どういうふうに言うんですか？。
- I: あたしは、あの、学校で、空き時間なんですって、言うと思いますね {笑}。
- T: うん。
- I: だけど、たぶん、普通、普通の学校でいうと、空き時間っていうのは、あんまりないので〈ええ〉、たぶん、あんま、信じないと思いますね、たぶん〈うん〉。
どうせ、お前はさぼりだろうと、思われてると〈あー〉思いますね。
- T: でも、そう、思われたら困るでしょ？。
- I: はい、困りますね。
- T: やっぱ、うん、どういうふうにして、あたしが、もしおまわりさんだったら、どうやって説得する？。
- I: うちの学校は、ほかの学校と違うんですとか〈うん〉、言うと思いますね。
- T: あー、そうか〈はい〉。
ん、学校の説明をするのね。
- I: はい、ちょっとは〈うん〉、しますね〈うん〉。
- T: ほかの学校で違うんです、*、もうちょっと詳しく、そのあたり、ちょっと、説明してもらえますか？。
どう言ったら、い、なんか、違うんですだったら、ちょっと、よわ…
- I: えと、単位制で〈うん〉、あの、自己管理が〈うん〉、あの、なんていう、【学校名】で、その、主な言葉とか〈うんうん〉、あれなんですよ〈うん〉。
す、んで、い、1年に、例えば、1単位なら〈はい〉、12回出席、以上すれば〈うん〉、たとえ、出席した [した] だけで〈うん〉、その、成績をつけてもらう資格とか〈ええ〉、それが初めて得れて〈え

H005

え), それ以上出ると, でれ, ちゃんと, 授業出れば出るほど〈うん〉, 成績もついてくるし〈うーん〉, * , 自分の力にもなってくるし〈うん〉, なんて言ったらいいのだ, 例えば, その, ほかの学校とは違う〈うん〉。

本当に, 自己管理が必要な学校。

T : あー, なるほどね。

I : 例えば〈うん〉, 悪い友だちって言ったら, あの, 失礼なんですけど〈うん〉, 友だちとつるんで, 遊んで, よく遊んで, その友だちが, 一緒にさぼろうよって誘われて〈うんうん〉, そこで, たとえ, 意志が弱ければ〈ええ, ええ〉, んじゃ, 行くって〈うんうん〉, 断れればければ, じゃ, 行きますって言って, 行ったら〈うんうん〉, たぶん, おそらく, 単位が取れなくなって〈うん〉, 卒業, 3年間以内にできないと思いますね。

T : あー, そういうことなの。

I : はい, そういう面では, 絶対〈うん〉, ちこかんり [自己管理] が〈あー〉, かならず [必ず] 〈そうか〉, ついてくると思います。

T : あ, そう。

I : はい。

T : よくわかりました〈{笑}〉。

* , ばっちりね, それだったら。

そ, じゃ, ここでね, ちょっと, ロールプレイを〈はい〉あの, しようと思うんですけどね。

えーと, これなんですけど, ここね, えー, ちょっと読んでもらえますか?。

I : あなたの国の大学に, 留学を希望している日本人高校生を対象に, どんな準備をしたらいいか, スピーチをください。

T : うん, だから, 今ね, あのー, お, 中国の〈はい〉大学に留学しようとしている…

I : はい, 日本人が…

T : そうそう。

例えば, そういう, スピーチですから〈はい〉, たくさん集まってる人の前で〈はい〉, きちっと, 話してあげてくださいね。

ちょっと, 想像して。

I : あたしがですか?。

T : はい, {笑}。

I : 中国…

T : ちょっと考えて, うん。

I : まずは, やっぱり, どの国に行っても, あいさつの言葉が必要だし, 例えば, 中国ならば, ニーハオとかシェイシェイとかは, 絶対覚えてほうがいいですね〈うん〉。

そして, とえば, この, 道がやっぱり, 初めて行くなら, その, 道もわからないので, む, 道を尋ねる, 例えば, 本を買ったり, その, 勉強できるんですから, その, 勉強を, 道を, た, どうやって尋ねればいいのかとか, それを, ちょっとは覚えてほうがいいですね。

あと, 留学といえは, 結構長いと思うんで, 自分の, こ, 生まれ育った国, たび, 日本なら, あの, 日本でしかない, 例えば, カレーとかを〈うん〉, インスタントでもいいの, 例えば, 持っていったほうがいいと思いま, 恋しくなるので。

T : あ, そうですか。

I : はい。

あと, なんですかね, ちゅうごき…。

***。

T : あ, 質問ですけど…

I : はい。

T : えーと, あの, 気候はどうですか。

* , どんな洋服を準備していったらいいですか?。

I : 気候は…

T : 夏休みに, きよ, 行こうと思います。

I : はい。

H005

夏休みで、中国でいいですか。

T: はい、中国。

I: 例えば、その、行く、留学。

T: はい。

I: 例えば、中国ならば、あ、日本と、そんなに、大して変わらなくて、暑いので、日本と、に、いるあいだのような、服装で大丈夫です。

T: あ、そうですか〈はい〉。

よくわかりました。

ありがとうございます。

I: いいえ。

T: はい。

で、ここで、このスピーチが終わって〈はい〉、で、今度、えーと、スピーチが終わったあとで、高校生がね、やってきて〈はい〉、それで、あの、ちょっと、もうちょっと質問したいんだけどって〈はい〉、言いますね。

じゃ、もうちょっと、今度は個人的だから〈はい〉、普通に、友だちみたいに〈あ、はい〉、ちょっと、しゃべってもらっていいからね〈はい〉。

ちょっと、教えてください。

ね、あの、向こうで、お小遣いって、いくらぐらい持ってたらいいの？。

I: 向こうはね〈うん〉、中国は、そんなに、日本みたいに、ぶか〔物価〕が高くないから〈うん〉、そんなに、持っていかななくてもいいと思う。

T: あ、本当。

I: はい。

T: なんぼぐらいで？。

I: なんぼぐらいかな〈うん〉。

月に、1週間に、中国元で言えば、食事は含まないんです。

例えば、お菓子を、かえ、買うとしたら〈うん〉、20元、100元あれば、充分ですね。

T: しし、100元でいいの？。

I: はい。

T: あ、本当。

あ、そっか。

じゃ、あと、えーと、夜なん、夜、うー、やっぱり家の中にいたほうがいい？。

危ないかな、外に出たら。

I: と思う。

T: あ、そう。

I: はい、やっぱり、その、こち、国に行けば、行っても、例えば、安全なところもあれば、危険、危険なところもあるから〈うんうんうん〉、やはり、やっぱり家にいたほうがいいかなと思います。

T: あー、そうか〈はい〉。

あ、どうもありがとう。

I: {笑}, いいえ。

T: はい {笑}。

そう。

ときどき、こんなこと、あの、日本人の人に聞かれたりしますか？。

I: あー…

T: 中国のことやら、中国に行くとき、どうしたらいいとか。

I: あー、でも、たまに、最初は日本に来たときに…

T: うん。

{笑}, すいません。

はい、いいですよ。

I: 最初、日本に来たときに〈うん〉、日本語を、ちょっと、うまく話せるようなときに、友だちに、ながよく、仲良くなった友だちに、あの、お小遣いとか、どうしてるのって感じで、聞かれたんですが、あた

H005

しは、もう、正直に、あんまり、正直、そんなに、なかったって、言いましたね。

T : ふーん、あ、そうか。

I : はい。

T : はい、わかりました。

どうもありがとうございます。

I : いいえ。

T : はい。